JCI Matsumoto 一般社団法人 松本青年会議所



更生保護フォーラム

関わる、ということ。

～誰もが未来を描けるまちへ～

罪を犯した人が、もう一度このまちで生きていくために。
私たちにできる「関わり」とは…。

01 | 第一部 | 報告

知らなかった
私たちが、
関わって、揺れた一年。



02 | 第二部 | 講演

「高坂 朝人様 が語る
立ち直りと
社会との関わり」



03 | 第三部 | トークセッション

異なる立場から考える
地域でできる
「関わり」



2026 **11.16 月**

18:00－20:00（開場 17:30）

長野県松本文化会館（キッセイ文化ホール）
国際会議室
松本市水汲69-2

参加費 **無料**

定員 **180名**
（先着順）

予約・問い合わせは
こちらから

申込締切
11月10日(火)

対象 保護司・更生保護関係者の皆さま、市民・事業者の皆さま

主催 一般社団法人 松本青年会議所 まちの人財育成委員会

問い合わせ TEL 0263-32-7674 担当：山元

更生保護について考え、
共に歩む社会を目指して。

更生保護のはじまりから、今、そしてこれから。



約140年前、帰る場所を失った一人の男から、更生保護は始まりました。

明治時代、「もう二度と罪を犯さない」と誓って出所した若者。
けれど家族はなく、親族にも拒まれ、居場所を失いました。
この出来事をきっかけに、明治21年、地域で立ち直りを支える仕組みが生まれ、
その想いは今、保護司をはじめとする更生保護に携わる方々に受け継がれれています。

開催にあたって

松本青年会議所は、この一年「更生保護」をテーマに活動してきました。
はじめは、ほとんど何も知りませんでした。有明高原寮・松本少年刑務所へ足を運び、保護司の皆さまの声を聴き、心が揺れながら学んできたことを、このフォーラムでお伝えします。
更生保護を、一部の人だけが担うものにしないために、立場を越えて、地域にどんな「関わり方」を増やせるか、一緒に考える時間にしたいと思います。


有明高原寮でのスポーツ交流



4月例会のケースワーク



ま展・まなぶブース

講演・トークセッション登壇者



高坂 朝人 様（たかさか あさと）

NPO法人再非行防止サポートセンター愛知 理事長
一般社団法人日本自立準備ホーム協議会 代表理事
保護司（守山保護区保護司会）

1983年、広島県広島市出身、愛知県尾張旭市在中。
中学1年頃から非行少年となり、少年鑑別所3回、少年院2回、拘置所1回、逮捕歴15回を経験。23歳の時に家族を持ったことを契機に生活を改める。
2014年にNPO法人再非行防止サポートセンター愛知を設立し。
2015年に自立準備ホーム関所。非行少年等へ住まいの支援を行う。
現在は保護司、篤志面接委員としても活動し、民間団体との連携、
法務省矯正局・保護局との意見交換、各種講演・メディア発信等にも取り組む。

関わることで、きっと、社会は変わっていく。

主催　一般社団法人 松本青年会議所　まちの人財育成委員会

更生保護について考え、
共に歩む社会を目指して。

問い合わせ　TEL 0263-32-7674　担当：山元